

令和2年度第2回総合教育会議次第

日 時 令和3年3月24日(水) 午後2時00分～
場 所 ひかりプラザ2階 203・204号室

1 開会

2 協議・調整事項

「SDGsの推進に向けた教育の在り方について
～市長部局と教育委員会との連携～」

① 防災教育について (SDGs : 4, 11)

…資料1 防災安全課
第一中学校

② ジェンダー, 平等(差別)について (SDGs : 4, 5, 10)

…資料2 人権平和課
学校指導課
公民館課

3 その他

4 閉会

令和2年度 防災教育の実施について



SDG s 「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」

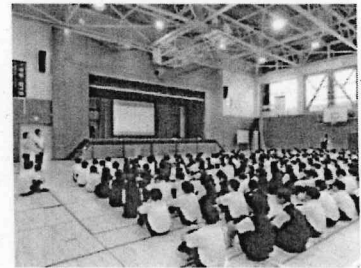
「仙台防災枠組 2015-2030 に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理」

1 学校との連携について

◆第一中学校

開催日 令和2年8月31日

- 目的 ①災害時における危機を認識し、日頃の備えを行うとともに、状況に応じた適切な判断をすることで、自らの安全を守る行動をとれるようにする。
- ②災害発生時、発生後に進んで地域の安全に役立つ行動がとれるようにする。



- 内容 ①防災教室
- ・災害時の対策について（地区防災センターとしての役割等）
 - ・段ボールベッドの組立ての説明と実践
- ②備蓄食料の試食

◆第二中学校

開催日 令和2年10月30日

- 目的 国分寺市の防災の特徴について各自が関心を持つ。
- 内容 防災安全課職員による講話：国分寺市の防災対策

◆第五中学校

開催日 令和2年11月5日

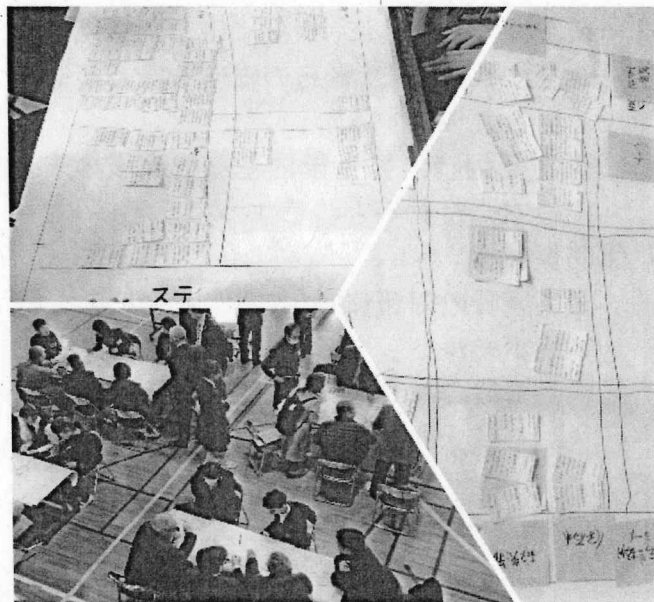
- 目的 生徒の防災意識を高め、避難所の要員としても地域に貢献できる人材教育を目指すとともに、地域の方々に第五中学校の防災体制や避難所としての施設・設備を理解していただく。
- 内容 ①防災倉庫の見学・説明
- ②災害用簡易トイレ、段ボールベッド設置訓練
- ③防災安全課職員による講話
- ④備蓄食料の紹介・配布

2 地域との連携について

◆地域の安全・安心を考える会

概 要 本多連合町会、東元町一丁目自治会、本町・南町連合会などの組織と、第二中学校の生徒が協力して実施する「地域の安全・安心を考える会」は、平成18年度に第1回目を開催して以来、防犯や防災などをテーマとして毎年開催されている。

テ ー マ 平成30年度は「運命を変える防災～学校での避難所運営について～」をテーマとして、平成31年3月2日に開催され、防災安全課は避難所運営ゲーム（HUG）を実施した。令和元・2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。



防災教育について



1. 第一中学校について

令和元年度・2年度 東京都教育委員会「持続可能な社会づくりにむけた教育推進校」
生徒数633名(19クラス)。学力、部活動ともに高いレベルだが校長として感じる課題もある。

2. 本校の防災教育について

1年生：防災学習(防災安全課説明&段ボールベッド、災害用簡易トイレ設営、 α 化米試食、
防災倉庫見学)

2年生： 静岡県地震防災センター作成の避難所運営ゲーム(HUG)

3年生： 救急救命訓練(心肺蘇生, AED)

3. 本校 HUG のここまでの流れ

- ① 本校着任の平成29年度は、静岡県防災センターから見本を取り寄せ、本校の地域名や実情に応じた変更を加えたものを作成し、使用許諾を得た上で厚紙に印刷して使用。
- ② 翌30年度には、学校指導課の「特色ある学校づくり予算」をいただき、市内業者に発注。これ以降は、それを使用。(校内研修会で説明、研修実施)地域の防災会やPTAに声をかけ、30名以上の大人が共に参加。
- ③ 令和元年度以降は、実施する2年生の学年会で事前研修と準備。
8月には、一中校区小中連携授業改善研修会において、小学校と中学校の教員が共に体験。
- ④ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、学年教員と生徒のみで実施。

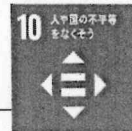
4. 本校 HUG 実施の背景

- ① 東日本大震災以降高まっている地域の防災意識(備え、発災時の対応、避難所運営への不安)への公的機関としての対応。
- ② 昼間に地域にいる中学生に対する高齢者からの期待の声。
- ③ 地域を支える人材としての中学生の意識向上。→SDGs
- ④ 地域とつながる術(仕掛け)の必要性。



ジェンダー、平等(差別)への取組

令和2年度第2回
総合教育会議 資料No.2-1
人権平和課



1 ジェンダー、平等(差別)への取組

世界・国

■SDGs「持続可能な開発のための2030アジェンダ」

「すべての人々の人権を實現し、ジェンダー平等とすべての女性と女児のエンパワーメントを達成することを目指す」

■男女共同参画社会基本法(第2条)

「男女が、社会の対等な構成員として ~ 共に責任を担うべき社会を形成する」

■第5次男女共同参画基本計画

○基本的視点と取り組むべき事項

「性別にとらわれることなく自らの選択によって長い人生を設計することができる環境の整備」

○第6分野:男女共同参画の視点に立った貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備

「性的指向・性自認に関すること、障害があること、外国人やルーツが外国であること等、~ 様々な属性の人々についての正しい理解を広め、社会全体が多様性を尊重する環境づくりを進める」

国分寺市

■国分寺市男女平等推進条例(基本理念 第3条第1項)

「性別にかかわらずだれもが、個人として尊重され、~ ジェンダーによる固定的な役割分担意識及びその役割分担に基づく社会的な制度又は慣行により、個人の社会における活動の自由な選択を妨げられることなく、多様な生き方が選択できること。」

■第2次男女平等推進行動計画(目標)

「男女の人権を尊重し だれもが相互につながり助け合い自己実現できるまち」

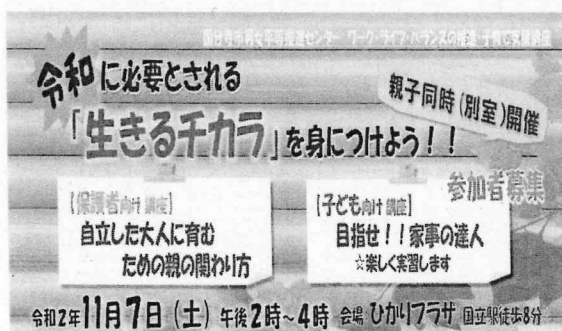
2 男女平等推進センターの取組(第2次男女平等推進行動計画)

■市民講座による啓発

【テーマ】

*ワーク・ライフ・バランス

*ジェンダーによる役割分担意識の解消



国分寺市男女平等推進センター リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座

思春期を迎える皆さんへ

大切なココロとカラダのお話

..(女の子編)..

小学4年生から、女の子の心やからだには様々な変化が現れます。そんな時に、皆さんの疑問や悩みについては、ご案内できればと思います。大切なこの時期に、月経の仕組みや付き合い方、女性のからだの変化についてなど、正しい知識を親子一緒に学んでみませんか。

開催日 令和2年 9月6日(日) 午前10時~正午
会場 国分寺市ひかりプラザ
講師 小笠原 真知子 先生 (12歳程度)

6人 (定員40名) 無料参加 (先着順)
お申し込みは、国分寺市男女平等推進センター TEL:042-573-4378
国分寺市男女平等推進センター TEL:042-573-4378

国分寺市男女平等推進センター リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座

自分で決めるために知っておきたい

妊娠・カラダ・不妊

妊娠や不妊はまだ自分には関係ないから大丈夫と思っていませんか？

妊娠・出産や不妊、女性のからだについて、正しい知識は持ちますか？産む選択だけでなく、避妊や避妊法について、判断をしないよう、「女性の将来を守る正しい知識」を一緒に学びませんか？

参加費 無料
定員 20人 (先着順)
開催日 令和元年 11月9日(土) 午後2時~4時
会場 国分寺市ひかりプラザ (国分寺市立中央図書館1階) 国分寺市男女平等推進センター TEL:042-573-4378
国分寺市男女平等推進センター TEL:042-573-4378

【テーマ】

*健康支援

*リプロダクティブ・ヘルス/ライツ

【テーマ】

*人権

*デートDV

*たがいの性の理解

国分寺市男女平等推進センター

児童館の会 「友だちと仲よくできる言葉のチカラ」

友だちと仲よく、友だちと仲よくできる言葉のチカラ。友だちと仲よく、友だちと仲よくできる言葉のチカラ。友だちと仲よく、友だちと仲よくできる言葉のチカラ。

開催日 令和2年 8月9日(土) 午前10時30分~11時30分
会場 国分寺市児童館
参加費 無料 (先着順)
国分寺市男女平等推進センター TEL:042-573-4378

「思春期ノート」を他へ送る

児童館職員サポートDVD制作

「思春期ノート」を他へ送る。児童館職員サポートDVD制作。児童館職員サポートDVD制作。児童館職員サポートDVD制作。

開催日 令和2年 10月10日(土) 午前10時~11時30分
会場 国分寺市男女平等推進センター TEL:042-573-4378

3 多様性への理解と差別のない国分寺市へ

ダイバーシティ推進に向けた取組

- 国分寺市パートナーシップ制度の導入
- 「すべての人を大切にし、差別をなくするための宣言を行う予定」(令和3年度施政方針)

国分寺市

パートナーシップ制度

国分寺市男女平等推進センターの基本理念に基づき、「性別に関わりなく誰もが国分寺市として尊重され、個人の社会における活動の自由な選択が認められること」を、多様な生き方が認められる国分寺市を創出する制度です。

令和2年11月15日スタート!!

LGBTやどうかもしれないと

思っている居場所をつくります。

LGBTやどうかもしれないと思っている人は、気軽に遊びに来て下さい。

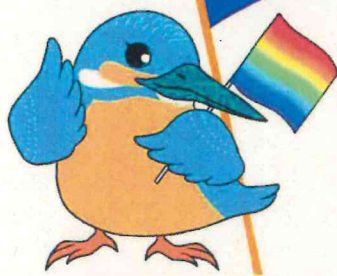
開催日 令和2年 11月9日(土) 午後2時~4時
会場 国分寺市男女平等推進センター TEL:042-573-4378

令和2年11月15日施行

市内中学校に配布(別紙参照)

令和2年11月15日スタート!!

国分寺市 パートナーシップ 制度



国分寺市男女平等推進条例の基本理念に基づき、「性別に関わりなくだれもが個人として尊重され、個人の社会における活動の自由な選択が妨げられることなく、多様な生き方が選択できる」国分寺市を目指した制度です。

一方または双方が性的マイノリティの2人が、パートナーシップ宣誓書などを市に提出すると、市が宣誓を確認したことを示す国分寺市パートナーシップ宣誓書受領証・国分寺市パートナーシップ宣誓書受領証カードを交付します。

次のすべてに該当する方が制度を利用できます。

- 宣誓書提出時に20歳以上である
- 双方が市内に住所を有している。または一方が市内に住所を有し、かつ、他方が3か月以内に市内への転入を予定している
- 配偶者がいない
- 宣誓しようとする相手の他にパートナーシップを有していない
- 双方の関係が民法の近親者間の婚姻の禁止・直系姻族間の婚姻の禁止に該当しない

*制度利用の手続きや必要書類など、詳しくは市HPをご覧ください。



■ 制度に関する問合せ、制度のお申し込み先 【受付時間】月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 9:00～17:00

国分寺市 市民生活部 人権平和課 人権担当 TEL 042-573-4378

男女平等推進センター(ライツこくぶんじ) 国分寺市光町1-46-8 ひかりプラザ2階

LGBTやそうかもしれないと 思っている人が集まれる 居場所をつくれます。

参加無料

要事前申込

10代から23歳までのLGBT等当事者限定
ひとりでも参加可能! 参加者の秘密は厳守します!

《会場》

東京ウィメンズプラザ 1階 視聴覚室ABC

開催日	時間・定員・申込方法
〈第1回〉 令和3年1月9日(土)	① 12:30~14:30 (各回20名程度)
〈第2回〉 令和3年2月13日(土)	② 14:45~16:45 ※申込多数の場合は抽選
〈第3回〉 令和3年3月6日(土)	● WEB申込フォームからお申込みください。会場は時間内 ※ 詳しくは裏面をご覧ください。 出入り自由

性別に
違和感が
ある

同性が
好きかもしれない

より
自分らしく
生きたい

同じ
セクシュアリティ
の人と話してみたい

LGBTやそうかもしれないと思っている人は、
気軽に遊びに来てください

いろいろなセクシュアリティの人の話を聞いたり、話をしたりできます。
自分のことを話しても、話さなくても構いません。

ゲームや
レクリエーション
などやります

◎必ず守ってください!

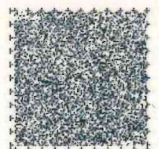
- ・10代から23歳までのLGBTやそうかもしれないと思っている人だけが参加可能です。
- ・大人の方の参加や付添いは御遠慮ください。
- ・勉強のための参加等、当事者以外の方の参加は御遠慮ください。

主催



東京都

東京都総務局人権部



申込要項

申込期限

- 第1回〈令和3年1月9日(土)〉
令和2年12月25日(金)締切
- 第2回〈令和3年2月13日(土)〉
令和3年 2月10日(水)締切
- 第3回〈令和3年3月6日(土)〉
令和3年 3月3日(水)締切

参加方法

- ご参加いただける方へお送りしたメールを
スマホ端末等で、受付でご提示ください。
- ご参加いただける方には、開催日の前日までに
メールで通知します。
- 申込多数の場合は抽選となり、抽選結果を
開催日の前日までにメールで通知します。

WEB申込フォーム

■WEB申込フォームからお申込みください。

<https://lgbt-tokyo.net/form/>



申込に
必要な情報

- 呼ばれたい名称
(ニックネーム可)
- 連絡可能な電話番号
- 年齢
- 返信用メールアドレス

〈申込に関してのお問合せ先〉

東京都交流の場事務局

(東京都受託業者: 株式会社協伸エンタープライズ)

【平日 9:00~17:00 ※年末年始、土・日曜日、祝日を除く】

TEL.03-3355-7085

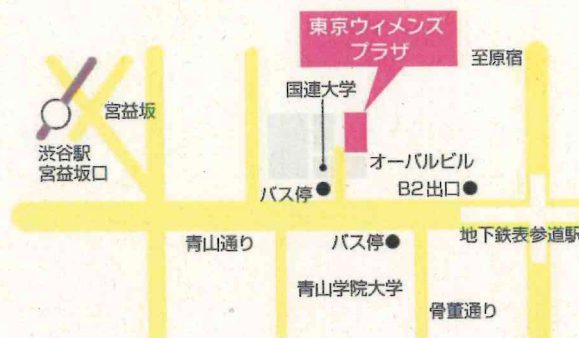
《会場までのアクセス》

東京ウィメンズプラザ 1階 視聴覚室 ABC

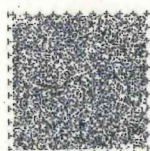
○住所: 東京都渋谷区神宮前5-53-67

■公共交通機関のご案内

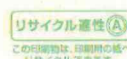
- JRその他各線
渋谷駅 宮益坂口から徒歩12分
- 東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線
表参道駅 B2出口から徒歩7分
- 都バス(渋88系統)
渋谷駅から2つ目(4分) 青山学院前バス停から徒歩2分



新型コロナウイルスなどの感染予防のため、マスク着用のうえご参加ください。
また入室の際には検温、アルコール消毒を行っていただくようにご協力をお願いいたします。



音声コードを専用の読み上げ装置やアプリで
読み取ると、情報を音声で聞くことができます。



どなたでも
お申し込み
できます

人権平和課主催講座

オンライン開催に変更になりました！

「多様な性」って なんだろう？

日本人の約13人に1人がLGBTQであるといわれ、
さまざまな性的指向や性自認が存在します。
シゲ先生と一緒に学んでみませんか。



講師：鈴木茂義さん(シゲ先生) (公立小学校講師)

シゲ先生には、多様な性についての基礎知識、
SOGI(性的指向・性自認)やジェンダー(社会的性別)、
教育現場での取組等をお話いただきます。
また、令和2年11月15日導入のパートナーシップ制度
について、市職員がご説明いたします。

■ 配信期間: **3月19日(金)～4月5日(月)**

※2時間弱の講座です。配信期間内にご視聴ください。

■ 申 込: **3月16日(火)までに**、メールにてお申し込みください。



✉ jinkenheiwa@city.kokubunji.tokyo.jp

※メールには「多様な性講座申込・氏名(ふりがな)・電話」をご入力ください。
※3月18日(木)に、お申し込みいただいたメールへYouTubeのURLを
送信いたします。



国分寺市 市民生活部 人権平和課 人権担当 TEL **042-573-4378**

男女平等推進センター(ライツこくぶんじ) 国分寺市光町1-46-8 ひかりプラザ2階

ジェンダー、平等（差別）に関する市立学校の取組について



市教育委員会では、これまで性同一性障害や性的指向・性自認に係る児童・生徒へのきめ細かな対応について、文部科学省のリーフレットや東京都教育委員会の人権教育プログラムを全教員へ配布し、対応の徹底を各校へ周知している。

また、国分寺市人権教育推進委員会においても、人権課題である「性同一性障害者」や「性的指向」に焦点を当てた研究授業を実施し、その成果をリーフレットにまとめて配付するなど、理解啓発に努めてきた経緯がある。

【平成29年度 人権教育推進資料 抜粋】

平成29年度 人権教育推進資料
多様性を尊重する児童・生徒の育成を目指した授業実践

オリンピック・パラリンピックと人権

「オリンピック」を知っていますか？
オリンピックとは、オリンピックの「おもてなし」を用いた言葉で書かれています。
国際オリンピック委員会（IOC）が主催する「オリンピック」は、世界中から集まる
「人権に配慮された」スポーツ大会であることが前提とされています。

【オリンピックの根本原則（抜粋）】

4. スポーツをすることは人間のつとめである。すべての人はいかなる種類の差別も受けることなく、オリンピック精神に基づき、その権利を行使する権利を認められなければならない。オリンピック精神に基づき、差別、偏見、フェアプレーの精神とともに相互理解が求められる。

5. このオリンピック精神の根本原則は、自然は人種、言語、宗教、性別、性的指向、年齢、国籍、政治的見解その他の差別を認めず、平等にすべての人々が参加し、競争し、勝利を収める権利を認めなければならない。

これはオリンピック委員会「オリンピック憲章」(2017年版・第4条)による。

パラリンピックとは、
国際パラリンピック委員会（IPC）が「IPCANDP」で人権尊重の場を確保し、
推進している。

【人権に関する立場表明（抜粋）】

「人権とは、人種、言語、宗教、性別、性的指向、年齢、国籍、政治的見解など、あらゆる面で異なる人々を自然に受け入れ、互いに認め合うことで社会は進歩するのであり、東京2020大会を、世界中の人々が多様性と調和の重要性を改めて認識し、共生社会を築く契機となるような大会とする、という思いが込められています。」

東京2020大会のビジョンの3つの基本コンセプト
「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」

人権課題「外国人」「人権課題「女性」
人権課題「ハラスメント」人権課題「性同一性障害者」人権課題「性的指向」等

東京2020大会の開催を契機に、児童・生徒が様々な人権課題を学べるように、
計画的に進めていきましょう。

参考：人権教育プログラム（学校教育編） 東京都教育委員会 平成29年3月
「多様性と調和」の実現を目指して—オリンピック・パラリンピックと人権— 東京都
平成29年度 国分寺市人権教育推進委員会

東京2020大会のビジョンの3つの基本コンセプト

「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」

人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治、障害の有無など、あらゆる面での違いを肯定し、自然に受け入れ、互いに認め合うことで社会は進歩するのであり、東京2020大会を、世界中の人々が多様性と調和の重要性を改めて認識し、共生社会を築く契機となるような大会とする、という思いが込められています。

人権課題「外国人」 人権課題「女性」 人権課題「障害者」
人権課題「ハラスメント」 人権課題「性同一性障害者」 人権課題「性的指向」等

東京2020大会の開催を契機に、児童・生徒が様々な人権課題を学べるように、
計画的に進めていきましょう。

参考：人権教育プログラム（学校教育編） 東京都教育委員会 平成29年3月
「多様性と調和」の実現を目指して—オリンピック・パラリンピックと人権— 東京都
平成29年度 国分寺市人権教育推進委員会

加えて、新しい学習指導要領では、総則の中に多様性を重視する文言が示されており、道徳、家庭科、保健体育等、様々な教科等で学習していくこととなる。現に、令和3年度から中学校で使用する保健体育の教科書では、性的マイノリティに関する説明や、当事者の方のメッセージも掲載されている。

【中学校保健体育の教科書における「LGBT」の注釈文章】

レスビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシャル（両性愛者）、
トランスジェンダー（出生時に診断された性と自らが認める性が一致しない人）の頭文字で、
性的マイノリティの一部の人々を指した総称のこと。この他にも、多様な性の在り方を踏まえた表現（「SOGI」など）がある。

市教育委員会では、現状やこれまでの取組を踏まえ、市として進めているパートナーシップ制度についても、発達段階に応じて正しい理解が図られるよう、学校でできることを検討していきたいと考えている。



1. 「くぬぎカレッジ」に関する報告

1. 令和2年度 文部科学省「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」委託事業



本委託事業の選定委員会にて、企画提案書の採択結果が 19 件中3位で採択され、かつ基礎自治体としては本市のみ。選定委員会からは①自治体の社会教育の可能性を広げるものと思われる②理念や連携協議会の構成がしっかりしており共生の地域づくりも意識されていて申し分ない③持続可能な生涯学習プログラムの開発が期待されると評価される。

公民館課では、上記事業に関する採択通知を令和2年4月28日付で收受したが、当時緊急事態宣言発令による臨時休館中であったため、6月の再開館以降によりやく稼働した。

2. 事業詳細(市報令和2年7月15日号公民館だより『けやきの樹』より)

令和2年度文部科学省「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」事業

『くぬぎカレッジ』始まります

公民館で行われている、知的障害のある人たちのための『くぬぎ教室』は昭和51(1976)年に始まり、今年44年目を迎えます。誰もが地域の中で自分らしく暮らしていくために、「もっと知りたい、もっと学びたい」という気持ちを大切にしながら、生活に根ざしたテーマについて半年かけて学ぶ『くぬぎカレッジ』を開講します。最終日には認定証をお渡しします。

スケジュール

	10:00~12:00	13:00~15:00	15:00~16:30
8/23(日)	くぬぎラボ(学習)		
9/13(日)	くぬぎラボ(学習)	テアトロくぬぎ(表現)★	
10/11(日)	くぬぎラボ(学習)	テアトロくぬぎ(表現)★	
11/8(日)	くぬぎラボ(学習)	アトリエくぬぎ(造形)★	
12/13(日)	くぬぎラボ(学習)	アトリエくぬぎ(造形)★	
1/17(日)	くぬぎカフェ		
2/7(日)	くぬぎカフェ		

※午前と午後の内容は入れ替わる場合があります

自由な交流するツールも考えています

会えなくても声で気持ちを伝えよう…
くぬぎ電話

電話が難しくても文字で情報交流ができる…
くぬぎメール

「くぬぎカレッジ」の様子や、参加者同士の交流を新聞として発行する…
くぬぎジャーナル

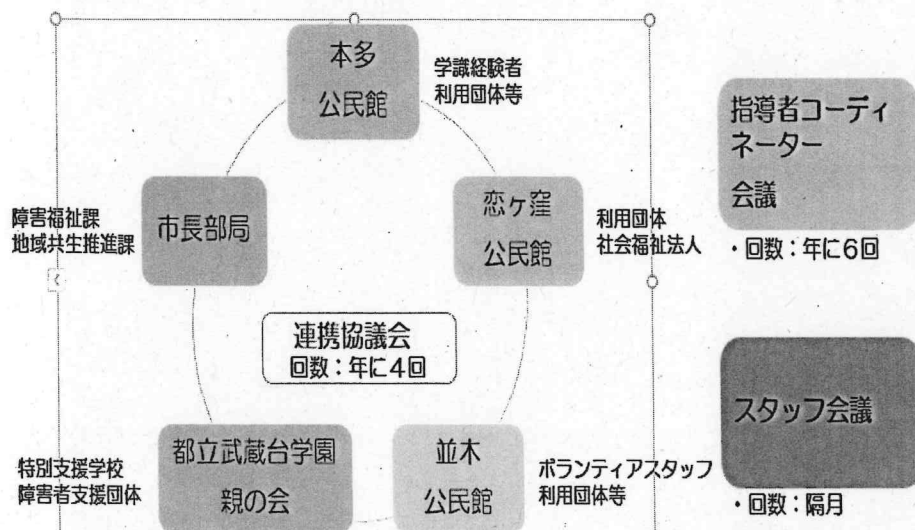
障害の有無にかかわらず、市民が地域で支え合っていく持続可能な学びの仕組みをつくるため、くぬぎカレッジでは学習と表現活動、造形と交流の4本柱とした。

また、コロナ禍において孤立しがちな障害者がつながる形、交流するツールとして、くぬぎ電話やメール、ジャーナル(紙面)を設けた。

令和3年1月28日現在、参加申込者は21名、スタッフ登録者は19名。

3. カレッジ運営に関する3つの会議

各種会議（①連携協議会・②指導者コーディネーター会議・③スタッフ会議）



教育委員会公民館課が事務局を担う会議：

①連携協議会：既存のくぬぎ教室を実施している3館からの代表に加えて、市長部局からも担当職員が参加。②指導者コーディネーター会議：生涯学習専門の大学教員による指導・助言③スタッフ会議：カレッジの運営を支えるボランティアスタッフとの意見交換。

4. 本事業の成果

- ① 想定していた成果（参加者・ボランティア 延べ 200 名，メールと電話の活用）
- ② 想定していなかった成果（スタッフの増加・講師の紹介・東京新聞への掲載）
（支援者向け研修計 3 回参加者 62 名，各市からの視察・留学生の見学 延べ 22 名）
- ③ 文部科学省第 10 期中央教育審議会生涯学習分科会事例・施策集に掲載
- ④ 参加者やスタッフなど当事者の要望・ニーズから生まれた企画（手話ダンス）

5. 今後の課題

- ① コロナ禍における感染防止対策（ボランティアの関わり方・飛沫感染防止）
- ② オンラインによる会議の運営（接続器具や Wi-Fi 環境の整備，職員の経験不足）
- ③ 好評だったラボの講義を動画コンテンツとしてネット配信・オンデマンド対応
- ④ 20 代～70 代で構成されたボランティアスタッフの異世代交流

